

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月28日

上場会社名 サンウエーブ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7993 URL <http://www.sunwave.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 織田 昌之助

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 熊澤 敏男

四半期報告書提出予定日 平成21年11月5日

TEL 03-3518-4317

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	38,395	△15.1	419	100.9	423	80.8	△145	—
21年3月期第2四半期	45,203	—	209	—	234	—	267	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△2.52	—
21年3月期第2四半期	5.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	68,514	34,432	50.3	550.76
21年3月期	66,965	32,432	48.4	674.60

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 34,432百万円 21年3月期 32,432百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	△13.9	700	△29.1	600	△33.5	△270	—	△4.68

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 —社 (社名) 除外 —社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 62,546,500株 21年3月期 50,396,500株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 27,891株 21年3月期 2,320,223株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 57,704,621株 21年3月期第2四半期 48,103,231株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年4月30日に発表いたしました連結業績予想(通期)は本資料において修正しております。

2. 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）におけるわが国経済は、昨年度のリーマンショックによる金融市場の混乱に端を発する低迷状態から徐々に立ち直りを見せ回復基調にあるものの、失業率が過去最高となるなど、依然として厳しい状態が続いております。

このような状況の中で、当第2四半期累計期間の連結業績は景況感の悪化から新設住宅着工戸数が激減し、加えてリフォーム需要も冷え込んだことから大幅な減収となりました。

当社グループは従来より、将来の少子高齢化時代の到来による減収を想定し、減収となっても一定水準の利益を確保するべく「販売」「調達」「開発・生産」「業務」の面において革新活動を精力的に推進してまいりました。

これらの革新活動に加えて緊急的な固定費の圧縮により、営業利益、経常利益については、各々当初計画を上回ることとなりましたが、四半期純利益については減損損失、関係会社整理損失引当金の計上により赤字に転落いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高383億95百万円（前年同四半期15.1%減）、営業利益4億19百万円（前年同四半期100.9%増）、経常利益4億23百万円（前年同四半期80.8%増）、四半期純損失1億45百万円（前年同四半期は四半期純利益2億67百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比し15億48百万円増加し、685億14百万円となりました。主たる要因といたしましては、資産の部においては、社債の発行及び借入金の増加による現金及び預金の増加が57億53百万円、売上高の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少が30億56百万円あったことによります。負債の部においては、売上高の減少に伴う支払手形及び買掛金の減少が12億51百万円、短期借入金の減少が50億円、資金調達として社債の発行及び新規借入を実行した結果、社債（一年内償還予定の社債含む）、長期借入金（一年内返済予定の長期借入金含む）の増加がそれぞれ41億25百万円、21億59百万円あったことによります。純資産の部においては、第三者割当増資及び自己株式の処分により資本金、資本剰余金がそれぞれ6億9千9百万円増加しております。

これらの結果、自己資本比率は50.3%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見直しにつきましては、景気の本格的な回復が来年度以降となることが見込まれることや、足元の新設住宅着工戸数の減少による影響が当年度下期に顕在化することが予想されることから、業績予想を修正させていただく次第であります。

通期連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	84,000	700	600	240	4.99
今回修正予想（B）	79,000	700	600	△270	△4.68
増減額（B－A）	△5,000	－	－	△510	－
増減率（％）	△6.0	－	－	－	－
前期（平成21年3月期）実績	91,755	986	902	531	11.05

通期個別業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	77,000	600	500	200	4.16
今回修正予想（B）	72,500	600	500	△300	△5.20
増減額（B－A）	△4,500	－	－	△500	－
増減率（％）	△5.8	－	－	－	－
前期（平成21年3月期）実績	83,125	793	757	448	9.33

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,957	7,203
受取手形及び売掛金	20,904	23,960
商品及び製品	1,335	1,341
仕掛品	308	315
原材料及び貯蔵品	1,756	1,922
繰延税金資産	334	465
その他	3,869	4,166
貸倒引当金	△12	△19
流動資産合計	41,454	39,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,584	6,800
機械装置及び運搬具（純額）	2,581	2,696
土地	9,833	10,096
その他（純額）	616	650
有形固定資産合計	19,615	20,243
無形固定資産		
ソフトウェア	974	1,072
その他	83	162
無形固定資産合計	1,057	1,235
投資その他の資産		
投資有価証券	1,421	1,093
繰延税金資産	1,437	1,504
その他	3,882	3,995
貸倒引当金	△449	△462
投資その他の資産合計	6,292	6,130
固定資産合計	26,965	27,609
繰延資産		
社債発行費	93	—
繰延資産合計	93	—
資産合計	68,514	66,965

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,224	10,475
短期借入金	—	5,000
1年内償還予定の社債	—	625
1年内返済予定の長期借入金	5,457	5,248
未払法人税等	133	195
賞与引当金	98	611
特別クレーム補償引当金	99	142
関係会社整理損失引当金	73	—
その他	2,940	2,776
流動負債合計	18,027	25,074
固定負債		
社債	6,750	2,000
長期借入金	1,950	—
退職給付引当金	6,617	6,651
役員退職慰労引当金	5	8
製品保証引当金	544	565
その他	185	232
固定負債合計	16,053	9,458
負債合計	34,081	34,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,551	13,852
資本剰余金	13,164	12,464
利益剰余金	6,789	7,054
自己株式	△7	△673
株主資本合計	34,497	32,698
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17	△125
繰延ヘッジ損益	△47	△140
評価・換算差額等合計	△64	△265
純資産合計	34,432	32,432
負債純資産合計	68,514	66,965

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	45,203	38,395
売上原価	31,176	25,982
売上総利益	14,027	12,413
販売費及び一般管理費	13,818	11,993
営業利益	209	419
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	87	112
その他	174	115
営業外収益合計	268	230
営業外費用		
支払利息	130	115
売上割引	67	58
その他	44	52
営業外費用合計	242	226
経常利益	234	423
特別利益		
固定資産売却益	506	—
貸倒引当金戻入額	9	16
特別利益合計	515	16
特別損失		
固定資産除却損	202	48
固定資産売却損	—	16
関係会社出資金評価損	—	14
関係会社整理損失引当金繰入額	—	73
投資有価証券評価損	2	—
ゴルフ会員権評価損	5	—
貸倒引当金繰入額	35	—
減損損失	—	244
特別損失合計	244	397
税金等調整前四半期純利益	505	42
法人税、住民税及び事業税	59	68
法人税等調整額	177	118
法人税等合計	237	187
四半期純利益又は四半期純損失(△)	267	△145

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

全セグメントの売上高の合計、営業損益の合計額及び資産の合計額に占める住宅設備関連事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月19日付で、株式会社住生活グループから第三者割当増資及び自己株式処分の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が14,551百万円、資本準備金が13,051百万円となっております。